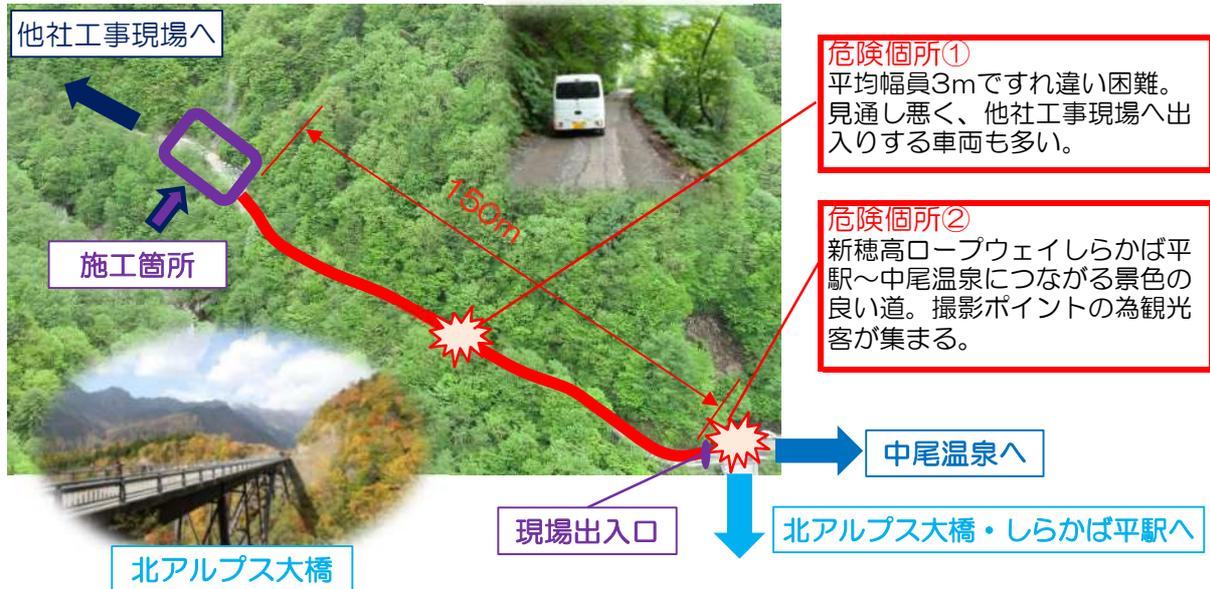


3. [車両感知式警告灯システムによる安全対策] 【外ヶ谷地区】

外ヶ谷現場での施工にあたり危険視されたのが、ゲートから現場までの150m区間と出入口での交通事故であった。

運搬路は待避所もなく普通車がすれ違えない狭い道となっており、出会い頭での衝突事故の危険性が高かった。また、出入口に隣接している「北アルプス大橋」は絶景撮影ポイントとしてSNSで話題になっており、観光客が多く訪れる為、周囲に車両の出入りを知らせる必要があった。

そこで、「車両感知式警告灯システム」を設置し、工事関係者及び、観光客に対して注意喚起を行い事故防止を図った。



・ 施工箇所側



停止位置看板

車両停止線

警告灯は車両を感知するセンサーに近づくと対向車側の警告灯が点灯し、対向車両の接近を知らせる仕組みとなっている。

この警告灯が消えてから進入できることを工事関係者に周知し、出入口周辺の観光客にも注意を促し事故防止を図った。

・ 北アルプス大橋側



施工箇所側

施工箇所下流の待避所に停止位置を定め、見やすい場所に入口ゲート通過時に点灯する警告灯を設置した。

・ 中尾温泉側



出入口側

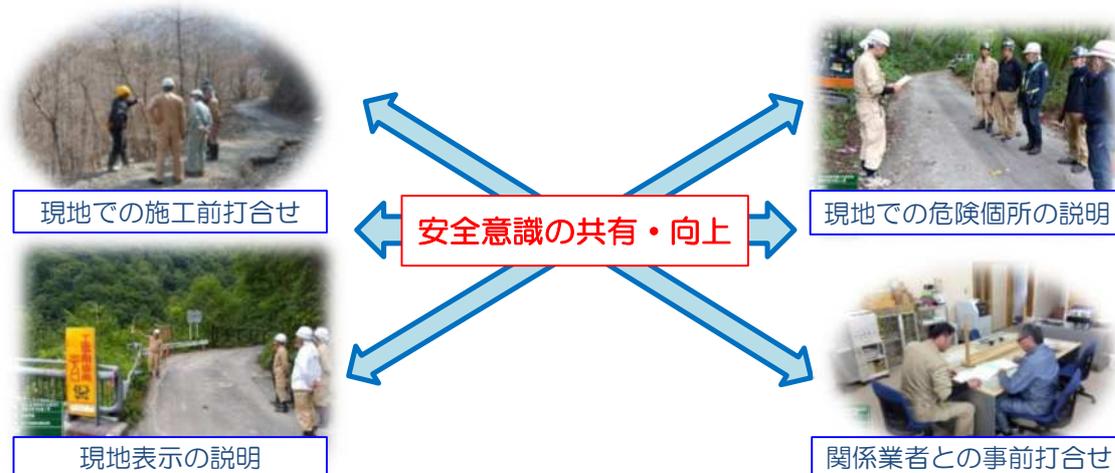
すれ違い可能な車両停止箇所に「ランプ点灯中は、ここで対向車の通過をお待ちください」と表記した看板を設置した。

車両停止位置から見やすい位置に警告灯を設置し、標準の点滅等に加え回転灯も増設した。

これにより円滑かつ、安全に通行することができ運搬路内、出入口付近共に事故は起こらなかった。

4. 【関係機関への周知徹底】 【柏当地区】 【外ヶ谷地区】

外ヶ谷地区では施工箇所の上流部にて他社工事が施工されており、工事関係車両の往来が激しい為、業者間の事故防止対策に関する周知徹底が必要となった。



隣接工事に関しては、週間・月間工程の把握、運搬路走行時の危険個所の共有を行い、事故防止を図った。また、舗装工に伴う通行止めの際にも、双方の工程に支障が出ないように心掛けた。生コンプラント、舗装業者には業者間の無線に頼りすぎず、現地の指示や表記に従っていただくよう地図を使った事前説明と現地説明を行った。

4-1. 安全教育による安全意識の向上

柏当地区の現場出入口付近は、幅員が広くスピードを出しやすい直線の後に急カーブがある為、進入時退出時に注意する必要があった。

安全教育訓練では、出入口での危険の洗い出しを行い、意見を出し合った。その中で「直線側の見通しが良い為、カーブ側の確認が疎かになり飛び出す恐れがある」という意見に着目し、後日、徐行・出入口看板のほかに一時停止を重点的に記載した看板を設置した。

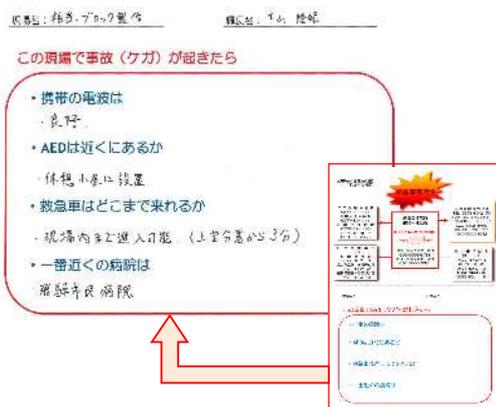
結果は看板一枚の設置に過ぎないが現地で見て→話し→意見を出し→実施する。この過程が安全意識の向上につながった。



また、工事看板で掲げている緊急時の連絡体系についても「概要看板に貼ってある物はいろいろ書いてあって分かりにくい」「必要な事が書いてあるのだと思うが最低限必要な事は何か」という意見が出た。

そこで現場用体系図を作成し、現場入場時に職長中心に全員で確認し書き込む様式にした。基本の連絡は管理者によって行うが、携帯電波の有無、近くの病院等を記載することで発生時の初動が速くなると思われる。

今後、指示工事等現場が転々とする場合もこの方法を活用していきたい。

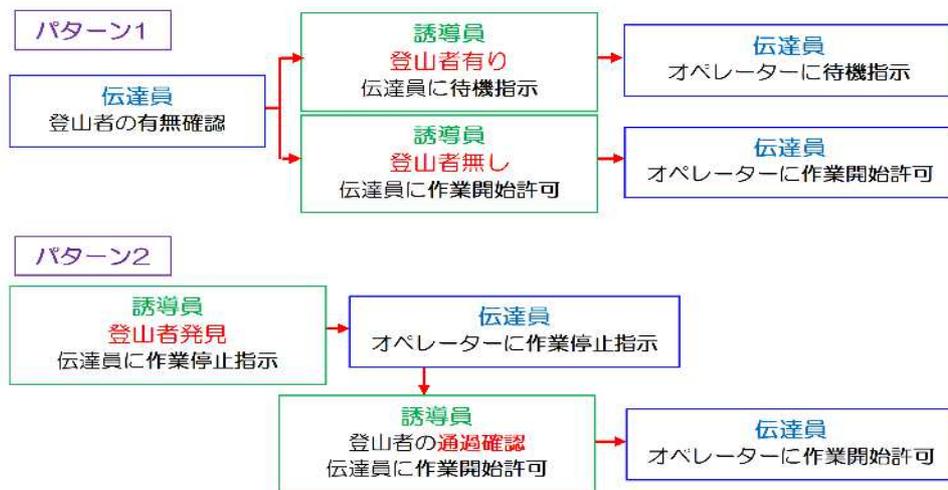


5. 【第三者との事故防止対策】 【割谷地区】

割谷地区での法面工を施工するにあたり現地調査を行ったところ、法面直下約100m地点に川を横断するルートでの登山道がある事を確認した。また、法面下部約50m地点には堆積した崩土によるポケットがあった。このポケットにより法面掘削時の落石を受け止めてくれるのではないかと考えたが登山道まで達する可能性が高かった。そこで法面掘削時における、登山者に対する安全対策を重点項目として現場内で協議した。



バックホウでの法面掘削作業時は無線を使用し、対オペレーター用の伝達員1名、対登山者用の誘導員2名を配置する事とした。



上記対策の結果、ポケットを飛び越えた落石の被害はなく、安心して作業を終えることができた。

6.【結果】

今回の安全対策により、どの現場も安全に作業を終えることができた。ただ対策をとれば良いのではなく周りにどう伝えるか。周知させるか。が重要だと考えさせられた。限られた期間で周知の徹底ができた。

作業員に対しても観光客に対しても何がどう危険なのかをシンプルに分かりやすい掲示、説明を今後とも継続していきたい。

7.【最後に】

管内保全工事は平湯大滝周辺、たから流路工、新穂高溪流保全工等、観光地と隣接する現場が多数あり、観光へ訪れた方々の見たものすべてがその地域の印象となります。地元の方と国の事業の橋渡しとなり、今後も現場の中から外まで安全第一の現場環境を整えていきたいと思ひます。最後に、栃尾出張所ならびに関係各位の皆様へ心より感謝申し上げます。